

森と建築屋久島 2019

FOREST ARCHITECTURE & SUMMER WINTER SCHOOL

杉は国内の木造建築に欠かせない存在です。屋久島の杉は日本の杉の原種とされています。屋久杉を育む屋久島の森は、日本全土に広がる森林の縮図のような環境が見られる。このスクールへの参加を通し、その圧縮された自然環境で育つ杉の植生・木材の特性を学び取り、木造建築の礎の一つである木材林業への理解を深めることが目的です。またその屋久島の杉材を使い、実際に建築物を計画・製作を実践し地域で育まれた木が木材となり建築物となり人に使われていくまでを体感します。2018年8月に開催されたサマースクールでは、森の木が「木材」になっていく過程を体験しました。今回開催するウインタースクールは、夏に「木材」となった木が「建築」になっていく過程を実作業と共に学習していきます。

日程：2019年2月8～12日（4泊5日）

定員：10名 参加費用：46,000円

※宿泊費・ガソリン・保険含む（現地までの費用含まず）

場所：屋久島内各所（鹿児島県熊毛郡屋久島町）

お問い合わせ・お申込み

【E-mail】 office@tabira.biz または andrea@a-h-architects.com

【TEL】 0997-43-5956（田平 宛て）または 03-5429-0333（彦根建築設計事務所）

企画

彦根アンドレア（彦根建築設計事務所 建築家 武蔵野美術大学 非常勤講師）
並木秀浩（ア・シード建築設計 建築家 日本大学 非常勤講師）
田平拓也（NPO 屋久島エコフェスタ理事長）

協賛

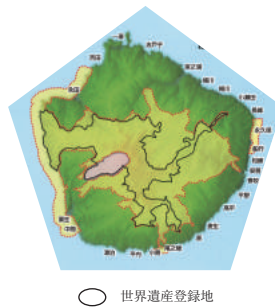
チャンネルオリジナル株式会社

林業の礎となった島



標高 500m 以上に自生するものだけを「屋久杉」と呼びます。屋久杉の原生林は元来、島民の信仰対象の一つであり、人が手を入れることはしてきませんでした。しかし、500 年程前に寺社寺院などの建造への利用が始まったことを切っ掛けに建材として活用されてきました。現在、屋久杉の伐採は禁止されていますが、屋久島が杉の育成に適切な場所であることは変わりません。そのため建材へ利用を目的として、植林活動が継続され現在も優れた杉の産地になっています。屋久島の杉の森は日本の木造建築を今昔にわたり支え続けている場所です。

世界自然遺産の島



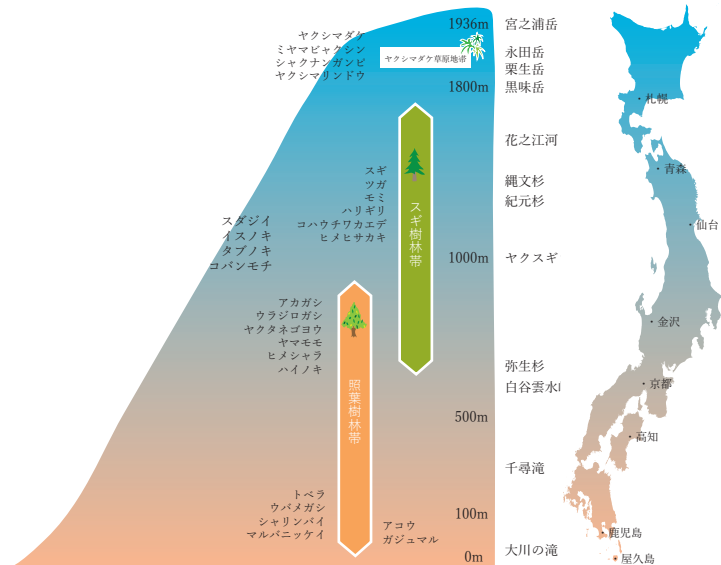
屋久島は白神山地と共に、日本で初めてユネスコ世界遺産登録がされた場所です。島内の世界遺産登録地は海岸から山頂を含む島の約 20% の範囲に及びます。登録の理由は日本自然観察の重要な要素であり、固有植物である杉の優れた生育地であること、東アジアの南から北の植物へ変化しながら植生する様子が一つの島で観察できることなどが上げられています。

このような、唯一無二の自然環境で人々に愛される場所となっています。また、島の形はほぼ正五角形で黄金比の形状。均整のとれた美しい形も人々を魅了する要因かもしれません。

日本の森林環境が圧縮された島

屋久島は世界遺産登録された一因にもなっていますが、島内で東アジアの南から北までの自然環境が見られます。島の平均気温は約 20°C 近く、亜熱帯の気候ですが、山を 100m 登るごとに 0.6°C ほど気温が下がり、標高 2,000m 近い山頂では 6°C 台が平均気温の亜寒帯の気候に変化します。直径 30 km に満たない島が、いわば屋久島～札幌付近の緯度が圧縮された環境。合わせて、海岸から山頂へ気温の変化に伴った植物が移り変わる垂直分布が見られます。

屋久島は世界遺産登録された一因にもなっていますが、島内で東アジアの南から北



森と水の島



屋久島は日本一の降雨量がある土地と言われています。東京の年間平均降雨量が約 1400 mm なのに対して、屋久島は平地で約 4800 mm、谷合で約 7700 mm。記録的な大雨となった平成 11 年は約 11700 mm にもものぼり、現在においても気象庁の観測としては史上最高となっています。こうして山々に降る雨が森を育み、谷を削り滝になり、人々の暮らしを潤し、最後は海へ注がれるのです。そしてまた、太陽の恵を得て山へ降る。屋久島では、水の循環を見ることで自然の巡りを読み解くことができます。

協力

- ・NPO 屋久島エコフェスタ オメナプロジェクト実行委員会
- ・(株) 屋久島地杉加工センター
- ・鹿児島県立屋久島高校
- ・屋久島町長峰区
- ・屋久島森林組合

後援

屋久島町教育委員会 屋久島町 鹿児島県 屋久島森林生態系保全センター



スケジュール

- 2/8 13:00 集合 (gallery TABIRA)
- 14:00 屋久島地杉加工センターにて
彦根アンドレアによるデザインに基づいて加工された木材を移動
- 夜 講演会・交流会
(地元住民・林業家・地元環境関係者)
- 2/9 AM/PM バス停製作作業 (長峰区公民館にて)
- 2/10 AM 森の散策
- PM バス停製作作業 (長峰公民館にて)
- 2/11 AM 森の散策
- PM バス停製作作業 (長峰公民館にて)
- 2/12 11:30 終了解散 (空港・宮之浦港へ送迎あり)
- ※2/8 ~ 12 の宿泊場所は長峰区公民館を予定



※現地までの交通費は含まれません。現地集合、現地解散となります。
※スケジュールは天候その他の理由により、予告なく変更する場合があります。
※宿泊は山小屋・公民館・島内研修施設になります。※日程には山歩きなどが含まれるため、登山の装備が必要です。(レンタルあり)